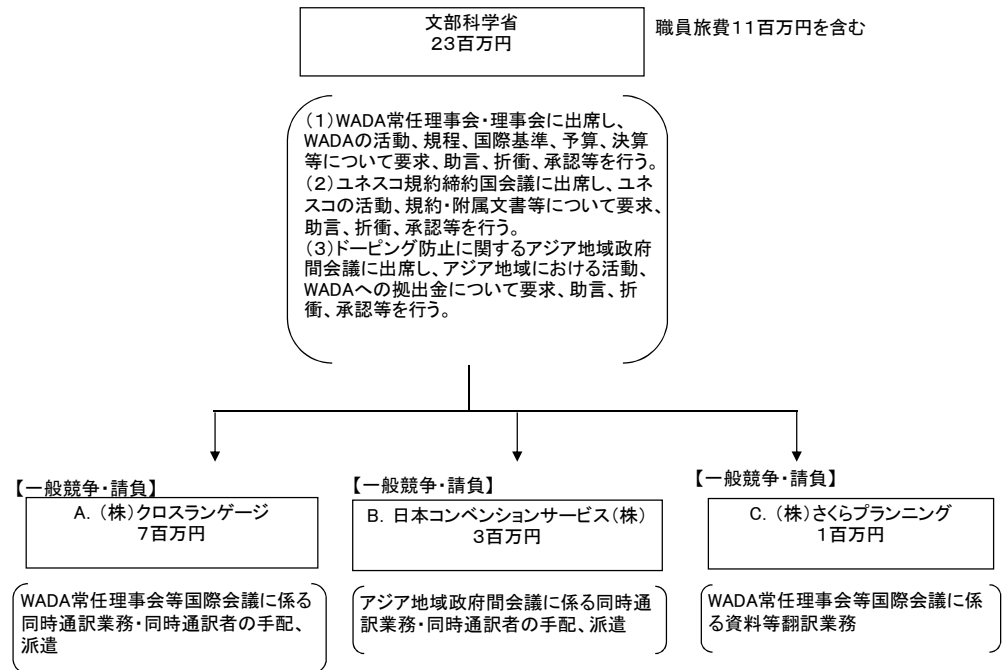


平成25年行政事業レビューシート（文部科学省）										
事業名		世界ドーピング防止機構等関係経費			担当部局庁		スポーツ・青少年局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成13年度・未定			担当課室		競技スポーツ課		競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
会計区分		一般会計			政策・施策名		スポーツの振興 XⅡ-3 我が国の国際競技力の向上			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第14条			関係する計画、通知等		スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を損ねるなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域代表常任理事国として、またユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		(1)WADA常任理事会・理事会に出席し、WADAの活動、規程、国際基準、予算、決算等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (2)ユネスコ規約締約国会議に出席し、ユネスコの活動、規約・附属文書等について要求、助言、折衝、承認等を行う。 (3)ドーピング防止に関するアジア地域政府間会議に出席し、アジア地域における活動、WADAへの拠出金について要求、助言、折衝、承認等を行う。								
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	20	25	23	25			
			補正予算	-	-	-				
			繰越し等	-	-	-				
		計		20	25	23	25	24		
		執行額		20	23	23				
執行率(%)		100.0%		92.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
		本事業は、当該年度に開催されるWADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に出席し、アジア地域代表常任理事国としてWADAの活動、予算等について、要求、助言、折衝、承認等を行い、ドーピング防止活動の推進に資することを主な目的としており、定量的な指標にはなじまない。			成果実績					
					達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
		WADA常任理事会・理事会等国際会議出席回数			活動実績 (当初見込み)	回	5 (7)	5 (7)	5 (6)	— (6)
単位当たりコスト		WADA常任理事会・理事会等国際会議出席1回当たりのコスト(2,233,905円/1回)			算出根拠	単位当たりコスト＝平成24年度世界ドーピング防止機構等関係経費職員旅費執行額(11,169,526円)／国際会議出席回数(5回)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	職員旅費		14百万円	12百万円						
	庁費		11百万円	12百万円						
計		25百万円	24百万円							

事業所管部局による点検						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。スポーツ界の透明性及公平・公正性を向上させることは、誰もが安全かつ公正な環境の下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件であり、次代を担う青少年が、スポーツを通じて、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから、広く国民のニーズがある事業である。なお、日本は、アジアで唯一のWADA常任理事国として、国際的なドーピング防止活動の推進を図る義務があるため、国が推進していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に当たっては、見積もり合わせ等によりその妥当性及競争性を確保するとともに、一般競争入札を実施しており、単位当たりコストの削減に努めているところである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		－			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	WADA常任理事会・理事会等への出席であり、委託事業等になじむものではなく、本省による直接執行が最も実効性の高い手段である。 WADA常任理事会・理事会等の開催は、その年度中に決定されることもあるが、出席すべき会議には全て出席し、国際的なドーピング防止活動の推進を図っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		－			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		－			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	・予算の執行については、同時通訳や資料翻訳等の役務業務について一般競争入札を行うことで、コストの削減に努めている。 ・事業の活動実績については、WADA常任理事会・理事会、アジア政府間会議等に全て出席し、アジア地域代表常任理事国として責任を果たしている。 ・本事業では、世界ドーピング防止機構の会合にアジア地域代表常任理事として出席し、国際スポーツ界が目指すドーピングのないクリーンなスポーツの実現に向けた提言や活動を行うことにより、我が国が国内及びアジア地域内におけるドーピング防止活動に積極的に取り組み、ドーピングの撲滅に貢献していることを国際スポーツ界に明確に示すことができた。今後とも、コスト削減に努めつつ、アジア地域代表常任理事国としての責任を果たしていくべきである。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」の締結を踏まえ、WADA常任理事会・理事会などの国際的な活動に参画することによって、ドーピング防止活動の推進を図ることを目的とした長期継続事業であり、契約・執行の手続の観点から検証を行った。 2. 所見：支出先上位者リストのB-1との契約が1者応札になっているから、競争参加条件等より一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	引き続き、競争参加条件等の見直し、契約の競争性、公平性、透明性の確保に努める。					
備考						
スポーツ基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm 世界ドーピング防止規程について： http://www.playtruejapan.org/downloads/code/WADA_CODE_2009_JP.pdf 日本ドーピング防止規程について： http://www.playtruejapan.org/downloads/code/JADA_Code_2009_Version2.pdf ユネスコ「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」について： http://www.mext.go.jp/unesco/009/003/017.pdf						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0370	平成23年	0359	平成24年	0387

※平成24年度実績を記入。



※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)クロスランゲージ			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	通訳費	国際会議における同時通訳業務	7			
	計		7	計		0
	B.日本コンベンションサービス(株)			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	通訳費	国際会議における同時通訳業務	3			
	計		3	計		0
	C.(株)さくらプランニング			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	翻訳費	国際会議資料翻訳業務	1			
	計		1	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト**A.WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務**

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クロスランゲージ	WADA常任理事会等国際会議に係る同時通訳業務・同時通訳者の手配、派遣	7	4	94.44%

B.アジア地域政府間会議に係る同時通訳業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本コンベンションサービス(株)	アジア地域政府間会議に係る同時通訳業務・同時通訳者の手配、派遣	3	1	99.95%

C.WADA常任理事会等国際会議に係る資料等翻訳業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)さくらプランニング	WADA常任理事会等国際会議に係る資料等翻訳業務	1	6	95.27%